

# るるる



今月の表紙

ケアステーションライフエル

PICK UP

- 1 いつまでも、自分らしい生活を
- 2 No Music, No Life.

HELLO! NEW STAFF

鯉谷さんのひとりごと

# 自分らしい生活を

# いつまでも、



配膳しながら和やかに話しかける西C W。お二人で暮らすご夫妻は昼食も一緒に談話室で。

比較的自立している方も多いライフエル駒川の入居者さん。その暮らしを見守り、支える「ケアステーション ライフェル」の様子を見学しました。

「行ってきます!」と、ひとりで散歩や買い物へ出かける入居者さんも多いライフエル駒川。そこには、それぞれの生活をそばで見守り、必要に応じてサポートする職員さんがいます。ケアステーション ライフェルでサービス提供責任者(サ責)を務める宮川さんは「プライベートな暮らしのそばで、その方らしい生活を支えていきたい」と言います。「『ご自身で家事できるかな?』『入浴時や外出時の転倒リスクは?』など、日々接している介護士の話をもとにいろいろ考えて。ご本人やご家族、ケアマネさんと話しながら必要な時は介護サービスを段取りします。希望と実情、それぞれふまえながら日々向き合っている感じです」(宮川さん)。同じく、サ責を務める小柳さんは「以前介護士として勤務していた時は、介護や掃除・洗濯など生活支援をすることで、入居者さんに

感謝されて。目の前の方が喜んでくれるので、嬉しかったですね。サ責になった今に関わる方が増えたので、感謝される幅も広がったし、全体が見えるようになりました。これから挑戦してみたいなど考えているのは、配食サービスや外出同行の提案です。食事にこだわりを持っている入居者さんがいらっしゃるの、どうかなって。その方ごと、それぞれに合わせたサービスを考えていきたいと思っています」と話してくれました。



管理者  
山之内さん

介護士は入居者さんの様子を報告してくれるので、サ責は入居者さん、ご家族、ケアマネジャーと必要なサービスを考えます。自分らしい生活を送ってもらえるように連携し、支援していきたいと思っています。

## ケアステーション ライフェル

サービス付き高齢者向け住宅 ライフェル駒川  
住所：大阪市東住吉区駒川4-3-7 / 従業員数：27名



事務所はコミュニティスペースと隣接



サ責の宮川さん。日々の会話も大切に

## るるる日誌 - 日々のできごと -



ケアステーション ライフェルの事務所で話すサ責の小柳さん・宮川さんと介護士の西さん・武藤さん。大切な情報共有から何気ない話まで、穏やかに話していました。



コミュニティスペース「イマ」で開かれた健康体操教室。新型コロナウイルスの影響で催しが減ったこともあり、入居者さんはつかの間のレクをゆっくり楽しんでいました。



ナースさんから申し送りを受けるサ責の宮川さんと小柳さん。入居者さんの健康状態を把握して食事形態などに反映するために、夜間の熱や様子を確認していました。

# No Music, No Life.

ふとした時間、嬉しい時や楽しい時、悲しい時、寂しい時  
いつも私たちに寄り添ってくれる、歌や曲。

聞いた人：ライフェル駒川・寿幸苑  
の職員さん、+α

今回は職員さんに、好きな音楽・アーティストについて教えてもらいました。

「AAA (トリプル・エー) が好きです! もともと興味がなかったけど、友達に誘われて初めてLIVEに行ったら。圧倒されて、どっぷり魅力にハマりました。ファンクラブにも入会してるんです。推しは日高くん!カッコいいなって思います」



小柳さん  
(ライフェル駒川)

【 答えてくれた人 】



ライフェル駒川で2階～6階を担当するサービス提供責任者の小柳智里さん。今はカラオケに行けないので、YouTubeを観たりして日々リフレッシュしているそうです。

「フォークソングが好きで、ずっと好きなのは中島みゆきさん。疲れている時に聴くと歌詞が心に沁みるね。特に『糸』は名曲だなって思います。ラジオで話す本人のキャラクターがまた面白くて。運転中に聴いてリフレッシュしています」



社納さん  
(ドライバー)

【 答えてくれた人 】



入居者の送迎や社内便配達などを務めるドライバーの社納信夫さん。園芸に長けていて、寿幸苑の屋上菜園やガーデニングでも活躍。お孫さんとのほっこりエピソードも多数。



鄭先生  
(心療内科医)

「ラップのようなリズムのある洋楽が好き。最近ハマっているのはRoddy Ricch (ロディ・リッチ)! ビルボードランキングで何週も1位になっていた彼のデビューシングル『The Box』は音楽プレイヤーに入れてよく聴いています!」

【 答えてくれた人 】

寿幸苑へ心療内科の往診に来てくださる鄭先生。ご自身のクリニック以外にも各施設への往診や講演会活動で活躍。趣味はゴルフ。その際には2万歩歩くようにしているそうです。



吉田さん  
(ライフェル駒川)

「歌も、生き方も、まるごと好きなのが安室奈美恵さん。「Get Myself Back」の曲は落ち込んでる時も元気が出るし、「Chase the Chance」はつまらない時でも楽しい気分になります。頭の中で自然と曲が流れています」

【 答えてくれた人 】

ライフェル駒川で7階～11階を担当する介護士の吉田優子さん。仕事で辛い時は暗い表情にならないように、手を洗うついでに鏡を見ながら笑顔の確認をします。



「BTS (防弾少年団) にハマります。孫がYouTubeで観ていたのをきっかけに、家族ですっかりファンに。娘が出演番組を全部録画してくれるので、休みの日は集まって、観ながら騒いで、楽しんで。ストレス発散にもなっています」



武藤さん  
(ライフェル駒川)

【 答えてくれた人 】



ライフェル駒川で7階～11階を担当する介護士の武藤京子さん。「仕事のストレスはその日のうちに解消する!」がモットーで、夜アルコールを飲んでスカッとするのが習慣のようです。

「中学生の頃からコブクロが好きですね。『永遠にともに』が合唱の課題曲になって、そこで初めて存在を知り、歌を知り。良い曲だなって、すっかりファンになりました。今は通勤中や家事をしている時に息抜きがてら聴いたりします」



山口さん  
(ライフェル駒川)

【 答えてくれた人 】



ライフェル駒川で7階～11階を担当する介護士の山口勇馬さん。「入居者さんに笑顔になってもらいたい」と思い、仕事の合間のコミュニケーションも大切にされているそうです。

各事業所で、ときには外にとびだして、最近行なわれたさまざまな活動をご紹介します。

## 1 思い思いの七夕を

日時：7月6日（月） 場所：サボテンの花

七夕を翌日に控えたこの日、各施設ではそれぞれ短冊などを飾り付け。小規模多機能型居宅介護サボテンの花では、ご利用者が七夕飾りを工作し、難しい所は職員がサポート。短冊と共に、賑やかに笹へ吊るしていました。



## 2 マスクを付けて、健康祈願

日時：7月7日（火） 場所：ライフエル駒川

入居者が外出する際に通る通路では、可愛い手縫いの人形がお見送り・お出迎え。手芸が得意な入居者が手作りしたもので、新型コロナウイルスの感染が広がってからは新たにマスクも作ってつけてくれました。



## 3 ASO部、おもてなしを計画

日時：7月18日（土） 場所：各施設

新型コロナウイルス感染防止のため、「新入職員 WELCOME パーティー」を開催できなかった今春。その代わりに今できることを考え、名前が彫られたペンの贈呈と紹介冊子の制作を計画！おもてなしの心でがんばっています。



## 4 いよいよ収穫、屋上菜園

日時：7月21日（火） 場所：寿幸苑

医療事務の鈴木さん・管理栄養士の樋上さんが企画し、初夏頃から始まった屋上菜園。入居者さんや介護士さん、ドライバーの社納さんも手伝い、日々みんなで育てた苗がみごとに成長。収穫の時期を迎えました。



## Hello! NEW STAFF



ケアワーカー  
大月 知子さん  
(寿幸苑)

AND  
MORE!

ケアワーカー  
青木 唯さん  
(寿幸苑)

出身 大阪府大阪市

好きな食べ物 お酒

好きなこと・特技 キャンプ

※6月～7月末の入職者を紹介しています

## SNSも更新中!

浪速松楓会のいろいろな情報を、ゆる〜く発信中!社内報では伝えきれない日常の様子や取り組みを紹介しています。気軽にのぞいて、気が向いたらイイネしてください♪

Facebook・LINEからも社内報を読むことができます。



鯉谷さんの



ひとりごと

No.007

## 「もやもや」の大切さ

『半沢直樹』の新シリーズが始まった。僕も池井戸潤のドラマはいつも家族で楽しんで観ている。このドラマの人気の理由の一つはその「分かりやすさ」にあると思う。細かい人間模様を描くのではなく、悪役はいかにも悪そうな顔をしていて、バタバタ倒されていく痛快さを楽しむ様子は、現代版水戸黄門と言っても良い。このドラマを観ていてふと思った。僕たちの仕事は逆に分かりづらいことが多いな〜と。長生きする事がいつも正しいわけでもない。「事故」と「事故じゃないもの」の線引きって何だろう。

そもそも「ケア」って何だろう。僕たちはサービスを提供するけど、単なる御用聞きでもない。ケアの仕事は、どんなに頑張っても「もやもや」が残る時が多い。「ほんまにこれで良かったのかな」「これってそもそもなんでやる?」。僕は、「もやもや」することを無理にスッキリ結論を出さず、「もやもや」のまま目をそらさずに向き合うことは、とてもしんどい事であると同時にとても大切なことだと思っている。いま、現場で「もやもや」している時間を過ごしているみんなに「倍返し」で敬意を表したい。